

表1

## アンケートのお願い

我が国の子どもを持つ親が、もしもわが子が脳死状態に陥った時の感情の疫学調査はこれまで調査報告がないこともあり、下記研究班において、親の一般的な脳死に対する心境調査をすることになりました。恐れ入りますが、下記質問にお答えいただけますよう、お願いいたします。（なお、匿名調査で研究以外の目的での使用は行いません）なお、このアンケート内容は市立八幡病院倫理委員会の議を経て、実施しています。

**当てはまる項目の番号に をお付け下さい。**

1. あなたは 母親 父親 祖父 祖母
  2. あなたご自身はドナーカード（意思表示した）をお持ちですか？ はい いいえ
  3. お子さんの年齢（きょうだいがいる場合一番下のお子さんの年齢で）  
1歳未満 1歳から4歳台 5歳から9歳台 10歳以上
  4. あなたのお子さん達の健康状態は？（きょうだいでは誰か当てはまる人がいたら して下さい）  
健康である 生まれつき（または生後）の病気で寝たきりである どちらでもない
  5. 2010年に脳死下臓器移植法が改正され、臓器移植が15歳未満の小児にも適応され、臓器移植に限り、「脳死はヒトの死」と認められました。この考えに関してどう思われますか？  
そう思う そうは思わない
  6. 子どもの脳死下臓器移植に対しては  
賛成である どちらとも言えない 反対である
  7. あなたは、自分のお子さんがもしも「脳死とされうる状態」に陥った場合、その事実を受容できますか？  
絶対受容できない もしかしたら受容できるかも知れない 受容できる
- \* とお答えになった方も、是非、質問8.9.10.にもご回答ください。
8. 脳死下臓器移植医療の一貫で、お子さんの臓器提供の意志を尋ねられる場合  
臓器提供は絶対しないので、話も聞きたくない 話だけは聞いて考えてみる  
移植希望なので積極的に話を聞く
  9. わが子の脳死下臓器移植に関して  
全く考えられない 説明によって考える 積極的に考える 移植を希望する
  10. 子どもの脳死診断および臓器移植に関して何かご意見が有りましたら、お書きください。

以上、ご協力ありがとうございました。

厚生労働省科学研究費補助金（免疫アレルギー疾患等政策研究事業）

**「ソーシャルマーケティング手法を用いた心停止下臓器提供や小児の臓器提供を含む臓器提供の選択肢提示を行う際の対応のあり方に関する研究」班**

分担研究：小児科領域の選択肢提示の実態に関する調査研究

主任研究者 江口有一郎 佐賀大学医学部地域医療支援学講座消化器内科学

分担研究者 市川光太郎 北九州市立八幡病院小児救急センター